



鈴木 みどり 議員
やとみ志政会

問 防災訓練のあり方は

答 自助・共助の醸成と公助の連携

問 防災に対する取組は。

答 (防災課長) 自主防災活動や資機材整備等に対し、自主防災組織補助金による補助の実施。

啓発活動は、防災ワークショップ、出前講座の実施など。

訓練は、**※リエゾン連携訓練**、広域避難訓練の実施など。

問 市が主催の防災訓練は。

答 考えていない。

問 防災運動会を開催しては。

答 コミュニティ推進協議会主催の防災訓練メニューに盛り込んだ形は有意義。

問 市民への防災意識を高める訓練は。

答 子ども達の防災学習として、防災キャンプの実施や、市民全体には、防災ワークショップや出前講座を活用。



※リエゾン連携訓練
市災害対策本部と、外部の各種災害対応機関の現地情報連絡員との連携強化を目的。

問 愛知学院大学との協定で、市民への周知と訓練は。

答 周知は、市ホームページ、防災ワークショップ、出前講座等。

訓練は、事前避難対象地域の自主防災会、自治会や防災関係団体等が参加。

問 市長総括を。

答 (市長) 地域防災力の強化が被害を最小限に抑える第一歩で、各コミュニティ全体の活性化と、年齢に応じた防災教育が必要。

問 白鳥コミュニティセンターの管理は

答 日常管理・修繕は計画的に実施

問 運動会で使われていた道具等は今後どうするか。

答 (市民生活部長) 白鳥小学校区コミュニティ推進協議会の備品なので、同協議会にて協議を。

問 多目的ホールの雨漏りの原因究明が必要では。

答 (生涯学習課長) 本年度、特定天井撤去設計の際に原因を特定し修繕する。

問 定期的な、備品点検しているのか。

答 遊具は、定期点検年1回、日常保守点検年3回実施。

施設は、通常点検は職員が実施、建築設備定期検査は毎年、建築物定期調査は専門業者が3年毎に実施。



問 修繕申請が出た場合の処理は。

答 状況確認後、優先順位を付け修繕。

問 市長総括を。

答 (市長) 日常的な管理や大規模修繕は、計画的に実施し安全安心に施設利用ができるよう取り組んでいる。